

2012年2月1日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・大証・名証第一部

野村ホールディングス、2012年3月期第3四半期の連結決算を発表

野村ホールディングス株式会社(グループCEO:渡部賢一)は、本日、2012年3月期第3四半期(2011年10-12月、以下「当四半期」)の連結決算を発表した。

当四半期の収益合計(金融費用控除後)は4,049億円、税前利益は345億円、同社に帰属する当期純利益は178億円となった。

同社のグループCEOの渡部賢一は、以下の通りコメントした。

「第3四半期は、全ビジネス部門が税前黒字を計上し、当社は前四半期比で増収増益となった。市場環境の厳しさが続く中でも、営業部門はお客様のニーズに対応するコンサルティング営業を徹底し、アセット・マネジメント部門は幅広く資金を取込むことで、それぞれ安定的な収益をあげ、費用削減にも効果をあげた。ホールセール部門は、トレーディング収益が改善し、インベストメント・バンキングでの地域をまたぐビジネスが拡大したことにより、全地域・全ビジネス・ラインにおいて対前四半期で大幅増収となった。11月に発表した総額12億ドルのコスト削減は迅速に実行されており、また、市場環境および規制強化を見据えて、リスク資産を圧縮し、リスク管理も強化している。今後も強固な財務基盤と潤沢な手元流動性を維持しつつ、お客様に付加価値をもたらすための商品・サービスの拡充を図り、アジア発のグローバルな投資銀行として邁進していく。」

当四半期決算のポイント

2012年3月期第3四半期決算のハイライトは以下のとおり。

| | 2012年3月期 第3四半期 | 前四半期比 | 前年同期比 |
|-------------------|-------------------|-------|-------|
| 収益合計 (金融費用控除後) | 4,049億円 | +34% | +37% |
| 税前利益 | 345億円 | — | +24% |
| 純利益 | 178億円 | — | +33% |

- 当四半期の収益は 4,049 億円(前四半期比 34%増、前年同期比 37%増)、税前利益は 345 億円、当期純利益は 178 億円。
- 営業部門は、お客様である投資家のリスク許容度が低下する中、お客様のニーズに対応するコンサルティング営業を徹底し、若干の減収に留めることができた。
- アセット・マネジメント部門は、運用資産残高は減少したものの、コスト抑制にも努めてきており、安定した利益を上げた。
- ホールセール部門は全地域・全ビジネス・ラインで前四半期比大幅な増収となった。
- 2011 年 12 月末における速報値(バーゼル 2.5 ベース)で、自己資本比率は 15.5%、Tier 1 比率は 12.9%。2011 年 12 月末現在の B/S の資産合計は 33.5 兆円、株主資本は 2.1 兆円、グロスレバレッジは 16.2 倍、調整後レバレッジは 10.1 倍である。

当四半期の各部門の状況

● 営業部門

収益合計(金融費用控除後)は797億円、税前利益は101億円であった。厳しい市場環境を受けて投資家のリスク許容度が低下する中、コンサルティング営業を推進し、7四半期連続で顧客資産純増を達成した。特に債券は、顧客の多様な投資ニーズを捉えた結果、4四半期連続で販売額が増加した。

新規口座の開設は5万件。対面(店舗)と非対面(ネット&コール)の連携を強化し、顧客との接点を拡大した。

| | 2012年3月期 第3四半期(10億円) | 前四半期比 | 前年同期比 |
|-------------------|-------------------------|-------|-------|
| 収益合計 (金融費用控除後) | 79.7 | △5% | △18% |
| 税前利益 | 10.1 | △6% | △56% |

● アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の収益合計は前四半期比4%減収の153億円、税前利益は前四半期比10%減益の42億円であった。第2四半期以降、運用資産残高が減少したものの、コスト抑制にも努めてきており、安定した利益を計上した。

公募株式投信(ETFを除く)の買い控えもある中で、投資家ニーズに合った商品を提供して資金を取り込んだ。ETFでの資金流入968億円も下支えして、運用資産残高は前四半期比で微減に留まった。公募株式投信シェアと投資顧問資産残高は共に前四半期比で同水準を維持している。

| | 2012年3月期 第3四半期(10億円) | 前四半期比 | 前年同期比 |
|-------------------|-------------------------|-------|-------|
| 収益合計 (金融費用控除後) | 15.3 | △4% | △11% |
| 税前利益 | 4.2 | △10% | △24% |

● ホールセール部門

ホールセール部門の収益は前四半期比122%増収の1,762億円、税前利益は前年同期比3.5倍の378億円であった。各地域、各ビジネス・ラインにおいて顧客ニーズに合致した商品・サービスの提供に取り組んだ結果、全地域および全ビジネス・ラインで、前四半期比大幅増収となった。

- グローバル・マーケットは、フィクスト・インカム、エクイティの各プロダクトでトレーディング収益が改善した。
- ✓ フィクスト・インカムは、海外各地域のほぼすべてのプロダクトで前四半期比増収となった。クレジット・金利ともにストラクチャード・ビジネスが収益を牽引、為替は顧客フローとトレーディング収益の増加により、増収となった。アジアと欧州の収益が伸長し、海外収益比率は上半期の 53%に対して当四半期は 68%と上昇した。フィクスト・インカム全体の顧客フローからの収益は、前四半期比 5%増加した。
- ✓ エクイティは前四半期比 19%の増収となった。主要マーケットの出来高低迷により、顧客フローからの収益は減少したが、トレーディング収益が改善した。特に米州ではキャッシュ・エクイティや、デリバティブ等が復調し、収益に貢献した。
- インベストメント・バンキングは、前四半期比で収益が大幅に改善した。日本では国内外発行体の債券引受やクロスボーダーM&A 案件を獲得し、欧州では金融機関のファイナンス案件を複数獲得するなど、日本と欧州が収益を牽引した。また、プライベート・エクイティ・ビジネスの収益を計上し、各地域でのコスト削減によって生産性も向上した結果、税前黒字を実現した。

| | 2012年3月期 第3四半期(10億円) | 前四半期比 | 前年同期比 |
|-------------------|-------------------------|-------|-------|
| 収益合計 (金融費用控除後) | 176.2 | +122% | +2% |
| 税前利益 | 37.8 | — | 3.5x |

以上

詳細につきましては、当社ホームページ(<http://www.nomuraholdings.com/jp/investor/>)にて掲載の決算短信および決算説明資料をご覧ください。また、本日(2月1日)午後6時30分より、決算説明テレフォン・カンファレンスを開催する予定です。この模様は、当社ホームページ(<http://www.nomura.com/jp/>)を通じてライブ配信いたします。

本資料は、米国会計基準による2012年3月期第3四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料は、2012年2月1日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますので、ご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますので、ご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。